

黒い雨 (1989)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 日本

色彩 B&W

時間 123分

初公開日 1989/05/13

公開情報 東映

【解説】

井伏鱒二の同名小説を「檜山節考」の今村昌平監督が映画化。原爆による“黒い雨”を浴びたために人生を狂わされた一人の若い女性とそれを温かく見守る叔父夫婦のふれあい、そして被爆後遺症に苦しむ人々の姿を静かに淡々と描いていく。1945年8月6日、広島に原爆が投下される。その時、郊外の疎開先にいた矢須子は直後に降ってきた真っ黒な雨を浴びてしまう。5年後、叔父夫婦に引き取られた矢須子のもとへは縁談の話が持ち込まれるが、“ピカに遭った女”という噂からいつも破談になってしまう。叔父は矢須子が直接ピカに遭っていないことを証明しようと必死になるのだが……。

【クレジット】

監督 今村昌平

プロデューサー 飯野久

原作 井伏鱒二

『黒い雨』

脚本 今村昌平

石堂淑朗

撮影 川又昂

美術 稲垣尚夫

編集 岡安肇

音楽 武満徹 Toru Takemitsu

助監督 月野木隆

出演 田中好子

北村和夫

市原悦子

沢たまき

三木のり平

小沢昭一

小林昭二

河原さぶ

石丸謙二郎

大滝秀治

白川和子

深水三章

殿山泰司

常田富士男

三谷昇